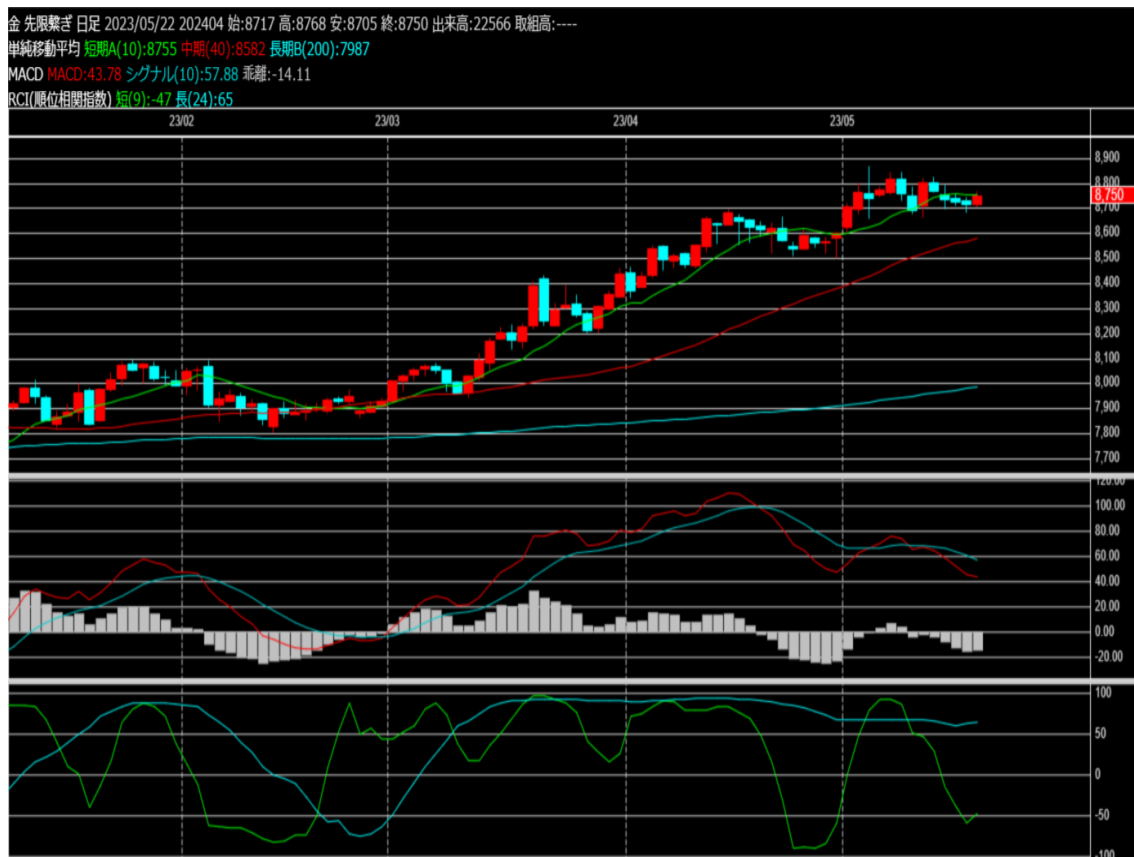


＜金標準、円安の恩恵とデフォルト・リスクで高止まり・・・＞



(出所：オアシス)

フィラデルフィア連銀製造業景況指数が前月の－31.3 から－10.4 まで改善し、ローガン・ダラス連銀総裁も利上げを見送るかについての質問に「まだその段階ではない」と否定するなど、経済指標の改善で6月のFOMCにおける利上げ確率は40%まで上昇し、ドル高・円安が進みドル建て金は下落したが、円建て金は高止まりを見せていた。しかし週末にはパウエルFRB議長が講演で金融市場の信用状況の引き締まりを受けて「大きく引き上げる必要はないかもしれない」と6月のFOMCに向けて明確なシグナルを発している。またイエレン財務長官は大手銀行CEOに対して「さらなる地銀の合併があるかも知れない」と発言するなど信用リスクの高まりも見せている。特にデフォルト回避に向けた与野党の協議では、マッカーシー下院議長が協議途中で退席するなど、歩み寄りが見られないことからデフォルト・リスクも高まるなど、逃避の動きが強まったことから8700円を維持し、再度8800円を狙ったリスクの巻き戻しが予想されると思われる。

＜テクニカル＞

金標準先物の日足のMACDやRCIでは、MACDはMACDが下げながらシグナルも下げているが乖離幅が縮小するなど、下げ渋る展開を見せている。またRCIでは短期が下げ止まりを見せ、長期は高値を維持するなど強気の域を続けている。そのため日足が10日移動平均線の位置する8755円を上回る値動きに備えるのが妥当と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,670,000 円(2023 年 5 月 22 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 40,700 円(2023 年 5 月 22 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>